



鈴鹿市立国府幼稚園 2021.7.20 No.4

長かった梅雨が明け、いよいよ夏到来ですね。ついこの間、進級・入園式を迎えたかと思ったら、あっという間に今日で一学期が終わり、明日から夏休みです。子どもたちは、「夏休みやと、幼稚園で遊べやんな〜」とつぶやきながらも、昨年よりの長い夏休みがあることに「えっ?!めっちゃ長い!」「やった〜!」と、夏休みを楽しみにしている様子が見えます。

保護者の皆様には、毎日の子どもたちの園生活を支えていただきありがとうございました。夏休みの間、ご家族皆さん病気や事故が起こることなく、二学期にまたお会いできることを楽しみにしています!



夏祭り、楽しかったね♪

2日に、子どもたちがとても楽しみにしていた夏祭りを行いました。この日は、PTAのお母さんたちが一人ずつ名前を刺繍していただいた素敵な法被を着て、子どもたちも大喜び！いろいろなゲームを思い切り楽しむことができました。



いっぱい取るぞ～！！

頑張れ～！！

みんな、気合の入っていたお菓子つかみ。大きな手でガシッとつかみ、たくさんゲット！見ている友だちも、「頑張ってる！」「いっぱい取って！」と盛り上がっていました。



「いっぱい釣れた！」と魚釣りをしたり、「難しいなあ」と真剣な様子で輪投げをしたりして楽しみました。



PTA 役員のお母さんたち、素敵な法被を作ってくれて、ありがとうございました！！

サッカー教室がありました

13 日に行われたサッカー教室。いつものラピドさんではなく、県民共済サッカーふれあい教室として、なでしこジャパンでも活躍されていた那須コーチにきていただきました。さくら組の時にも一度お世話になっており、子どもたちはそのことをよく覚えていて、一時間しっかり体を動かし楽しみました。



前！ 後ろ！ 右！ 左！

みんなで手をつないで輪になり、那須コーチの合図で前、後ろ、右、左にジャンプをします。

さすが、うめ組さん！みんな乱れることなく、息ピッタリでした。

4つのチームに分かれて、ボール取り対決！！他のチームのゴールにあるボールを自分のチームのゴールに運びます。せっかく集めたと思ったのに、他のチームの子に取られ・・・一人一人が最後まであきらめずに、自分のチームのためにボールを運んでいました。



最後は、みんなで試合をしました。いつもは、何人かがゴールを守っているのですが、今日は全員が走ってボールを取りに行っていました。

あまりにも試合が白熱していたので、見ていた私たちの応援も熱くなってしまいました（笑）

二学期、小学校就学に向けて・・・



さて、明日からいよいよ夏休み。今年は、41日のお休みになります。

一学期、子どもたちは友だちとたくさん遊んだりいろんな経験をしたりする中で、一人一人学んだことがあります、できるようになったことがあります、成長したところもありました。

そんな子どもたちの姿から、二学期に向けて、また小学校就学に向けてこの夏休みにお家の方をお願いしたいことがあります。

① どうしてほしいのか言えるようになる

子どもたちは、「先生、これできやん」「難しい」と言いに来ます。確かに、自分が何に困っているのかを大人に伝えることは、小学校に行っても大切なことです。しかし、子どもたちは、そこまで終わってしまい、だからどうしてほしいのかまでを言うことができません。

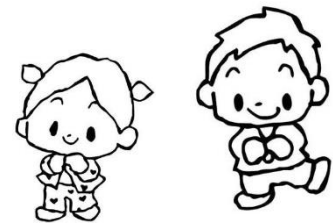
例えば・・・

子ども「せんせい、水筒のヒモがとれた」

教師「そっか・・・どうしようね？」

子ども「とれたんやけど。自分ではできやん」

教師「それで？先生にどうしてほしいの？」



このようなやり取りが、この一学期様々な場面で見られました。「できやん！」と言われたら、すぐに手伝ってしまっていないませんか？『困ったことがあった、だからどうしてほしい』と、最後まで言葉にして伝えることができるように、お家でも配慮していただけるといいかなと思います。

② できることは、自分でする

幼稚園では、基本自分のことは自分でしている子どもたち。朝や帰りの用意、着替え、制作で使うものを用意したり、制作で出たごみを捨てたりする、使ったものの片付け、掃除、歯磨きなど・・・いろんなことを子どもたちは自分でやっています。

しかし、子どもたちの話を聞いていると・・・

「家では、ママがやってくれてる」

「タオル忘れた！ママが入れるの忘れたからや」

「幼稚園ではやっとするけど、家ではやらん」



確かに、つい大人がやってしまったり、大人がやったほうが早かったりする時もありますよね。しかし、子どもたちは自分でする力を十分に持っています。この長い夏休み、自分のことは自分でする時間をたくさん作ってあげてください。

